

令和元年度 第2回災害対策本部設置運営訓練

“被災地派遣での経験を活かした新しい訓練の実施”

- 1 目的** 南海トラフ地震の発生に対応するため「豊橋市南海トラフ地震被害予測調査（過去地震最大モデル）」の被害想定に基づく訓練を実施し、災害対策本部機能の向上を図る。
- 2 開催日時・場所** 令和2年1月30日（木）9：00～11：00
豊橋市役所 西館4階 災害対策本部室及び防災危機管理課
- 3 訓練想定** 1月30日（木）午前6時00分、豊橋市の太平洋沖を震源とする南海トラフ地震が発生。（M8.7、市内における最大震度6強）

4 訓練項目

時間	訓練内容	
	① 本部員会議	② 事務局運営訓練
6:00	地震発生・情報伝達・安否確認	
9:00～	本部員会議【発災27時間後】	状況付与に基づく図上訓練
9:45～	本部員会議【発災3日後】	※本部員会議の時間軸と同じ
10:30～	訓練総括・講評	検証
～11:00	訓練終了	

①本部員会議（市長・副市長及び関係する部局長等）

全部班及び関係機関が今後発生しうる問題を想定し、その対応方針等を決定

②事務局運営訓練（災害対策本部事務局員等）

情報収集、対策立案、全部班及び関係機関との連携等、一連の流れを訓練

5 新たな取組み

- ・受援調整班の設置
“受援調整班”を設置し、他自治体からの人的・物的支援の受入れ手順を確認
- ・ブラインド型訓練
より実災害に即し、訓練の進行やシナリオを予め付与しない“ブラインド型”訓練を実施
- ・ドローン飛行隊による情報提供
市内の模擬被災地で収集した映像を、本部員会議にリアルタイムで中継
- ・停電等を想定した通信訓練
MCA無線（移動式防災無線）を活用した連絡体制を確認
- ・職員の子連れ参集を想定した報告訓練
職員用メールのアンケート機能を利用し、子連れ参集を想定した報告訓練を実施